

令和6年度地区懇談会（新生地区） 議事録（概要）

令和6年10月15日（火） 18:00～19:30

コミュニティセンター新生虹の家 出席者11名

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項

（1）何時来るか分からない津波対応について

概要説明：新生町内会

- ・ 避難経路にあたる、新生虹の家前庭の線路側にある鉄製の柵に開閉式扉を早急につけて欲しい。また、側溝の上に仮の橋を取り付けないと、若者はともかく年寄りには飛び越えることは不可能であり、大変危険である。

回答：総務部

- ・ 津波発生時の線路横断にかかるJR北海道との協議進捗状況については、現地確認が9月上旬に終わったところである。避難路確保のために、民有地などの用地の使用許可、伐採、除草が必要になることなどをJR北海道と確認しているところであり、今後は、線路横断の希望箇所ごとに必要な対策工事について詳細な協議を進めていくところである。
- ・ 新生虹の家付近については、JR北海道から「JRの用地に入るところには必ず扉を設置しよう」話があった。工事を実施する上で、鉄道用地と接するのは海側であるため、海側の土地所有者との協議を急がせていただき、少しでも早く実現できるように努める。
- ・ 新生団地については民有地を通らずに渡ることができるが、条件は新生虹の家と同様。スーパーセンタートライヤル登別栄町店付近についても同じ条件である。

質問：新生町内会

- ・ 作業や工事がいつできるのか聞きたい。

回答：総務部

- ・ あまり事例がないとのことで、JRの中でも安全対策が必要かを協議されていると聞いている。しかし、急がなければいけないことは理解しており、必要な工事について早急に提案させていただき、来年度にはその事業を実現できるように取り組んでいる。

意見：新生町内会

- ・ 側溝の脇の植物の成長が早くて、依頼しても伐採になかなか来ないので早急に対応してほしい。

回答：市長

- ・ 会長から質問があった時期については、決定するために話し合わなければならない項目があるため、海側・山側の話し合いを年内に行いたい。

5. 市長5期目におけるまちづくりについて

質問：新生町内会

- ・ 「安心につながる支え合いの精神」の項目の中で、「町内会の運営方法や組織のあり方についての協議」があったが、参考になることがあれば聞かせていただきたい。

回答：市長

- ・ 高齢化による担い手不足を解消するには、これからの時代を担う若い世帯がその地域に例えば20%以上いるという基準を作って、将来統合し、また『老人クラブ』も、例えば町内会の中に『シニア部会』等を作るなど形を変えていく方法があるかと思う。住民感情、市民感情が非常に大きく影響するので議論が必要であると考え、来年あたり、たたき台を作って提案してみたいと思っている。